

車載全固体電池市場展望 2018

～2022年 xEV搭載は実現するか?～

2018年4月25日発刊予定 A4版 200頁予定 予約受付中!!
 定価140,000円 (PDF版)/160,000円(通常版)/200,000円(エクセル版)

全固体電池 xEV model 上市予測 (ハイエッジ)



- トヨタによるxEV用全固体電池の開発が発表されて以降、xEV用全固体電池に注目が集まっています。全固体電池の実用化によりxEVの性能は飛躍的に向上し、xEVモデルの普及が急速に進むことが想定されます。
- 車載全固体電池開発は、トヨタ以外のメーカーでも積極的に行われており、2025年以降、搭載モデルの本格的な市場形成が予測されます。
- 本書では、自動車メーカー、電池メーカー及び材料メーカーにおける全固体電池の技術開発動向、特許出願状況を分析、2030年に至る車載全固体電池の技術動向を分析し、搭載車両の市場規模予測を行います。
- また、トヨタやFiskerの全固体電池搭載xEVの2022年頃の実現可能性を分析、全固体電池採用xEVモデルとその性能、xEV市場への影響を考察します。さらに、国内外の全固体電池特許出願から最先端の技術情報を網羅してその将来像を描きます。

資料名
 発刊日
 価格

車載全固体電池市場展望 2018 ～2022年 xEV搭載は実現するか?～

2018年4月25日予定

PDF版 (印刷不可PDFのみ)

定価¥140,000/税込

通常版 (冊子+印刷不可PDF)

定価¥160,000/税込

エクセル版 (*)

定価¥200,000/税込

*冊子+印刷可PDF+全固体電池関連特許公開DB付き(2017年版に最新&新データを追加)

資料体裁

A4 200頁予定 (冊子) フルカラー、PDFファイル (CD)、エクセルファイル (CD)

お申し込み

申込用紙をFAX送信いただくか、弊社ホームページからのフォーム入力によるお申し込みで承ります。下記、QRコードから、申込用紙ダウンロード、WEB申込みをお願いします。

お支払い方法

資料発送と同時に、御請求書をお送りさせていただきますので、指定の銀行口座にお振り込みください。詳しくは下記までお問い合わせください。



HIEDGE

最先端ハイテク市場調査・技術調査とマーケティング
 株式会社ハイエッジ

シニアリサーチャー 東谷 仁志
 〒465-0041 名古屋市名東区朝日が丘101 ラ・メゾン藤ヶ丘 2E
 TEL 052-773-3802 / FAX 052-773-3803
 E-mail ホームページのお問い合わせからお願いします。

FAX申込み用紙 (PDF)



FAX申込み用紙 (doc)



Web申込み



第1章 xEV市場動向と車載電池

- 1. xEV 電池市場の現状
 - (1) 世界xEVモデル市場規模推移
 - (2) 電池種類別xEV市場規模推移
 - (3) xEVモデル電池スペックの現状
- 2. xEV 車載電池に求められる電池性能
 - (1) xEV 車載電池総容量
 - (2) xEV 車載電池出力分布
 - (3) xEV 走行距離分布
- 3. xEVへの全固体電池搭載
 - (1) 全固体電池の種類
 - (2) 全固体電池採用の利点
 - (3) 全固体電池搭載の意味

第2章 全固体電池技術開発動向

- 1. xEVモデル搭載への課題
 - (1) 高エネルギー密度化/小型化
 - (2) 高出力密度化/低内部抵抗化
 - (3) 製造プロセス技術/量産技術
 - (4) 温度特性/耐振動性/信頼性
 - (5) コスト低減/安全性
- 2. xEVモデル搭載への条件
 - (1) 従来車載電池との比較
 - (2) 搭載電池容量/xEV航続距離
 - (3) 充電時間短縮/高出力化
- 3. 全固体電池関連特許出願/公開分析
 - (1) 全固体電池関連特許出願/公開件数推移
 - (2) 企業別全固体電池特許出願/公開件数比較
 - (3) 海外全固体電池メーカー公開特許情報

第3章 材料メーカー動向/要素技術

- 1. 全固体電池材料メーカー動向
 - (1) 三井金属
 - (2) 出光興産
 - (3) 住友金属鉱山
 - (4) オハラ
 - (5) 三菱化学
 - (6) 富士フィルム
 - (7) NOK
 - (8) 住友電気工業
 - (9) 富士通
 - (11) 栗本鐵工所
 - (12) 東レ

- 2. 全固体電池材料要素技術
 - (1) 固体電解質 (硫化物系/酸化物系/他)
 - (2) 正極材(NMC/LMO/LFP/他)
 - (3) 負極材(Si系/TLO系/他)
- 3. 全固体電池材料開発の課題
 - (1) 界面抵抗低減技術
 - (2) 硫化水素発生防止
 - (3) 固体電解質熱劣化抑制

第3章 電池メーカー開発動向

- 1. 日立製作所
 - (1) 錯体水素化合物固体電解質
 - (2) 150℃耐熱性で車載電池へ
- 2. 村田製作所
 - (1) 酸化物系と硫化物系での開発
 - (2) ソニーの全固体電池技術導入
- 3. 日立造船
 - (1) 全固体電池2018年生産へ
 - (2) 量産技術構築によるxEV展開
- 4. 日本特殊陶業
 - (1) 非焼結型酸化物系積層電池の技術
 - (2) EVモデル搭載へ大容量化推進
- 5. 日本ガイシ
 - (1) 酸化物系固体電解質LLZによる開発
 - (2) IoT用途を想定したチップ電池
- 6. パナソニック
 - (1) 車載電池におけるパナソニックの位置づけ
 - (2) トヨタとの共同開発による全固体電池
- 7. FDK
 - (1) 薄膜型全固体電池製造技術
 - (2) Li₂CoP₂O₇正極材による全固体電池
- 8. 積水化学工業
 - (1) 大容量フィルム型リチウムイオン電池
 - (2) 新規有機ポリマー電解質と塗工技術
- 9. Samsung SDI
 - (1) 400Wh/kg全固体電池開発へ
 - (2) 車載全固体電池2025年実用化想定
- 11. TDK
 - (1) チップ全固体電池2018年量産
 - (2) 酸化物系電解質によるCeraCharge
- 10. Solid Power
 - (1) 金属リチウム正極による全固体電池
 - (2) BMW/Mercedesでの実用化措置

- 12. Sakti3
 - (1) Dyson傘下で車載全固体電池開発
 - (2) エネルギー密度1100Wh/Lを実現

第4章 自動車メーカー採用動向

- 1. Toyota
 - ~ 三井金属固体電解質量産で2022年実用化へ~
- 2. Honda
 - ~ 全固体電池開発を発表/2020年EVモデル展開~
- 3. BMW
 - ~ Solid Power 全固体電池搭載2026年展開か~
- 4. Nissan Group
 - ~ 2020年大容量LIBで500km実現/全固体開発~
- 5. Fisker
 - ~ 800km走行全固体電池搭載EMotion発売へ~
- 6. VW Group
 - ~ 2025年 xEV80モデル/Audi Level5全固体へ~
- 7. Dyson
 - ~ 2020年EV発売へ/全固体電池搭載EV展開へ~
- 8. Hyundai
 - ~ 独自開発全固体電池搭載xEV2030年までに~
- 9. Mercedes
 - ~ Solid Power 48V 全固体電池搭載MHV展開~
- 10. General Motors
 - ~ Sakti3 との提携で全固体電池実用化想定か~

第5章 全固体電池搭載xEV市場予測

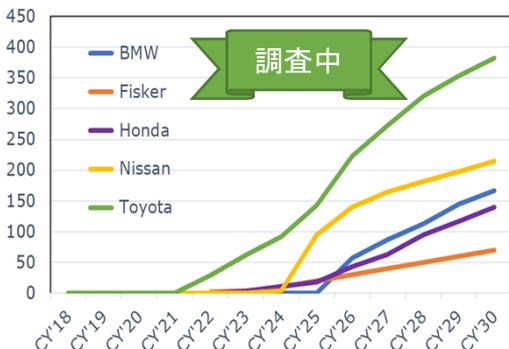
- 1. 全固体電池 xEVモデル市場展望
 - (1) 2022年投入か Toyota vs Fisker
 - (2) 2025年 全固体電池モデル間競争へ
 - (3) 全固体電池xEVモデル市場規模予測
- 2. xEVモデル全固体電池総容量規模予測
 - (1) xEVモデル全固体電池総容量予測
 - (2) xEV全固体電池搭載容量別総容量規模予測
 - (3) xEV全固体電池種類別総容量規模予測
- 3. 全固体電池xEVモデル
 - (1) 全固体電池xEV vs 従来型xEV
 - (2) 全固体電池 無機Type vs 樹脂Type

第6章 全固体電池 特許出願個表

- (1) 国内企業全固体電池関連特許出願
- (2) 主な海外企業全固体電池特許出願

※ 内容は変更する場合があります。

(K Units) All Solid State Battery xEV Maker Forecasts



(K Units) All Solid State Battery xEV Model Market Forecasts

